

TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年2月25日

我孫子市小中一貫教育だより

第371号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



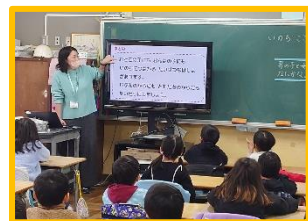
布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「いのち・ところ・からだ」の学習

湖北台東小学校 1 年生で Abi-キャリア「いのち・ところ・からだ」の授業が展開されました。今日の学習では、男の子と女の子の体の違いと命につながる体の器官を理解し、自他の体を大切にする気持ちを育むことをねらいとしています。

初めに、体の各部位の名称を確認しました。話を聞くだけでなく、自分の体を動かしたり、触ったりしながら確認しました。次に、男の子と女の子の体の違いとプライベートゾーンについて学びます。裸になった状態のイラストを使い、男性器と女性器の正式な名称と役割を教わりました。子ども達は、男の子の体にも女の子の体にも、赤ちゃんの命につながる通り道があることを知り、その大切な部分を「プライベートゾーン」ということを理解しました。また、プライベートゾーンを守るために「清潔にする」「むやみに触ったり人に見せたりしない」「嫌なことをされそうになったら、嫌だと言って逃げる。」「安心できる大人に話す」ということも学びました。



子どもには難しいから話さないではなく、正しい知識を少しずつ積み重ねていくことが大切だと実感しました。「いのち・ところ・からだ」の学習は中学 3 年生まで継続します。それぞれの体と価値観を大切にしながら自分らしく毎日を生きてほしいと感じました。

Abi-キャリア「便利」ということ 点字体験

根戸小学校 4 年生にて、Abi-キャリア「点字体験」の学習が行われました。社会福祉協議会から 2 名の講師が来てくださり、視覚障害のこと、点字のことを教えてくださいました。

始めに、視覚障害とは、視力、視野、色覚、光覚に障害があることだと学びました。点字ブロックには、進行方向を示す線状ブロック（誘導ブロック）と、注意喚起をする点状ブロックがあることや方向や場所を表すクロックポジションも教えてもらいました。

そしていよいよ点字を実際に打ってみました。点字は一文字 6 マスで成り立っていて、1～6 まで番号がついています。「あ」は「1」に穴、「い」は「1・2」に穴、というように点筆で打っていきます。「あいうえお…」と練習をした後、自分の名前を打ちました。濁音や拗音等もあり難しかったようですが、点字表を見ながら一生懸命打っていました。身近な生活の中にも、点字や牛乳パックのようにへこみの印がついているものがあることも学びました。



今日の体験をきっかけに、障害があっても生活できる工夫や、どう行動すると視覚障害のある方も一緒に過ごしやすいかなど、共生社会について考えていってくれることを期待しています。

